

指定管理者に係る令和3年度事業報告書及び令和4年度事業計画書について (大宮第二公園・第三公園)

指定管理者：大宮第二公園及び第三公園マネジメントネットワーク（令和2年度～令和6年度）

1 令和3年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

- ア 施設、設備の保守点検及び修繕や樹木等の園地管理を行った。
- イ 公園ギャラリーで緑や花に関する展示等を実施した。
- ウ 緑の相談会やウメの魅力アップ事業を行った。
- エ 「ヨガ教室」や「スポーツフェスタ」などの各種イベントを実施した。

(2) 施設の利用状況（過去5年間）

施設名	H29	H30	R1	R2	R3
テニスコート	110,999人	121,680人	120,866人	90,225人	104,376人
軟式野球場	13,505人	12,607人	10,599人	7,505人	8,955人
茶室	276人	202人	320人	188人	290人
集会室	3,371人	4,100人	4,722人	1,046人	745人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止による休止期間

テニスコート・軟式野球場：令和2年4月8日～6月15日

茶室・集会室：令和2年4月8日～6月21日、

令和2年12月24日～令和3年3月31日

(3) 収支状況

(単位：千円)

項目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	76,200	76,200	0		
利用料金収入	18,582	22,335	△3,753	新型コロナウイルス感染症拡大による利用者数の減	
その他収入	11,862	18,000	△6,138	梅まつり等イベント中止による減	
収入合計	106,644	116,535	△9,891		
人件費	35,847	35,407	440		
事業費	81,072	81,128	△56		
支出合計	116,919	116,535	384		
収支差額	△10,275	0	△10,275		

[参考] 指定期間における収支決算額の推移 (単位：千円)

項目	令和2年度
収入	109,069
支出	111,056
収支差額	△1,987

2 令和4年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 見沼の自然と風景を継承し、さらなる緑の魅力をアップする。
- イ 健康づくり・スポーツの拠点としての事業を展開する。
- ウ 公園の有効活用と活性化を図る。
- エ 安全・安心・利便性の向上、管理運営の高度化、情報提供の充実を図る。

(2) 事業計画

- ア 公園施設の維持管理業務
- イ 効率的・効果的な広報
- ウ すべての人が快適に利用できる休憩スポット等の整備
- エ 梅・花菖蒲・アジサイ等の整備による公園の賑わいの創出
- オ あらゆる世代を対象とした各種スポーツ大会、新たなスポーツの導入等
- カ ギャラリー棟の休憩機能向上や茶室での体験イベントによる施設の活性化

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	76,200	76,200	0	0	
利用料金収入	22,323	22,335	△12	△0.1	
その他収入	19,228	18,000	1,228	6.8	
収入合計	117,751	116,535	1,216	1.0	
人件費	34,407	35,407	△1,000	△2.8	
事業費	83,344	81,128	2,216	2.7	
支出合計	117,751	116,535	1,216	1.0	
収支差額	0	0	0	0	

(4) 執行体制【10名】

総括責任者(所長) (1)

- 公園管理担当(2) 〈各種事業運営、企画立案、利用許可、行為許可、利用調整、会計事務、利用受付、窓口業務〉
- 園地管理担当(5) 〈園地管理業務、植栽管理、運動施設の整備、巡視、緑の相談業務〉
- スポーツ関連事業担当(2) 〈サッカー教室・各種大会等の実施〉

(参 考)

○公園の概要

見沼田圃の北西に位置する、芝川や見沼代用水によってつくられる田園風景や生き物を育む豊かな自然が残る公園。(供用面積33.2ha)

○開設年月日 第二公園 昭和55年3月31日

第三公園 平成13年1月20日